

## 第2回酒田市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時：令和5年2月9日（木）午後1時30分～午後2時20分

場 所：酒田市役所3階 第1委員会室

出席者：池田 香委員、佐藤 ルミ子委員、星川 真由美委員、大川 慎委員、小野 英男委員、原田 勇委員  
以上6名

欠席者：吉川 恭一委員、酒井 朋久委員、以上2名

事務局：健康福祉部長、高齢者支援課長、高齢者支援課長補佐、高齢者支援課長補佐兼地域包括支援係長、  
高齢者支援課地域包括支援主査、高齢者支援課長補佐兼介護給付係長、高齢者支援課介護給付係調整主  
任、高齢者支援課介護給付係調整主任、高齢者支援課高齢者支援主査兼高齢者支援係長

### 1 開会

### 2 あいさつ

### 3 報告

#### (1) 令和3年度酒田市地域包括支援センター業務事業評価について（資料1）

委員	地域包括支援センターの事業評価が100%に近いのは、地域包括支援センターが各自で評価しているためか。
事務局	国で示している評価指標活用の手引きに従い、各地域包括支援センターで記入したものをそのまま使用し評価している。

#### (2) 地域ケア会議を通じて把握された地域課題について（資料2）

委員	社会資源ファイルは非常に役立つ内容のものだが、周知はどこまでされているか。
事務局	各地域包括支援センターや当課窓口配置してある他、市ホームページで公開している。
委員	民生委員の欠員については機会あるごとに話し合っており、現役世代の方からも活動してもらえるように検討している。仕事している方でも活動しやすいように、勤務先に会議出席依頼の文書を出す等の方法も行っている。
委員	地域ケア会議を通して把握された地域課題に対し今後の対応が記載してあるが、実際はどのように課題を解決していくのか。
事務局	今後の対応については各地域包括支援センターで考えたものだが、その中で市の政策や次期介護保険計画に反映できるものはないか等検討していきたい。
委員	地域の防災訓練時に車椅子の方の避難援助についての課題があった。車椅子の方への援助方法など教えてもらえる窓口はどこか。車椅子など介助するのに資格が必要なのか。
事務局	市の出前講座で対応できないか検討する。

### 4 協議

#### 日常生活圏域及び地域包括支援センターのあり方について（資料3）

委員	地域包括支援センターは限られた人数できめ細やかに地域で活動しており、重要な業務だと感じている。機能強化のため手厚い人員補充をお願いしたい。
----	---

委員	10圏域から7圏域に見直すということだが、各地域包括支援センターに配置になっている生活支援コーディネーターはどうか。
事務局	2層生活支援コーディネーターも各圏域に1名となるため、7名となる。
委員	デメリットに対し相談窓口の設置などを検討しているようだが、どのような形を想定しているか。
事務局	具体的には今後検討するが、ランチのような窓口を設置し相談を受けて地域包括支援センターにつなぐ役割を考えている。

## 5 その他

委員	コロナ禍以降、通いの場の茶話会を中止したままになっている。お茶のみやおしゃべりを楽しみにしている参加者も多いので、市からガイドライン等を出してもらいたい。
事務局	国からまだ指針が出ていない段階。今後、国の動向を見ながら通いの場の対応をお示しできればと思う。

## 6 閉会